

スマイル&ハート

浜田医療センター情報誌

秋号



(平成22年10月)

◆発行責任者◆

浜田市浅井町777番地12

浜田医療センター院長 日野 理彦

TEL 0855(25)0505

h-page

<http://www.hamada-nh.jp>



浜田医療センターの理念

「心のこもった、情のある医療」

基本方針

1. 健康を守る
2. 高度の医療
3. 地域連携

玄関ホールの壁面に掲げられている絵画です。新病院に移転した際、故山崎修二氏作の「緑の季節（パリ）」が奥様のご厚意で、寄贈されました。病院を訪れる多くの方の心にやすらぎを与えてくれます。



◇ 目 次 ◇

旧病院の解体工事終わる ……………	2	シリーズ認定看護師 ……………	7
医師紹介 ……………	3	あいサポート団体に認定されました …	8
新しくなった放射線治療の紹介 ………	4	健診センターからお知らせ ……………	8
「わたしたちは医療クラークです」 ……	6	地域連携室からお知らせ ……………	9
出産されたお母さん方へ ……………	6	看護学校だより ……………	10

旧病院の解体工事

浜田医療センターは、昨年11月1日に島根県及び浜田市並びに浜田市民の皆様のご理解とご支援のもと、無事にJR浜田駅北側に移転することができました。また、JR浜田駅と自由通路で連結されて非常に便利な環境となりました。

当センターは移転新築にあわせて病床数も354床から365床となり、島根県西部唯一の救命救急センターを有する急性期病院として高次救急機能の充実と効率化を図っています。

移転新築後の病院の取り組みとしての旧病院の解体工事が終了しましたので、その概要等についてお知らせします。

旧病院の土地は平成19年6月29日に浜田市土地開発公社と移転新築した浜田医療センターの土地を等価交換していますが、建物を解体し、土地を整地（更地）して浜田市土地開発公社に返還することとなっていました。平成21年12月17日に株式会社フジタ広島支店と契約をし、約27,000㎡の土地での解体工事を行ってまいりました。

工事は、建物が平屋建てから5階建ての全56棟からなるため、エリアを病院本館部分を東区・西区、看護宿舎側を北区の3工区に分けて作業が進められました。杭引抜き工事は、短い杭で4m、長い杭で38mもあり、総本数が2,529本、延総距離に直すと24kmにもなりました。また、壊した廃材（産業廃棄物）は16tトラック160台に上りました。砂埃の為に散水した水道代は、多か月で80万円の経費がかかり、延作業人員は計5,287名に上りました。工事は順調に進んでいましたが、今年7月に土壌調査の結果、砒素の土壌溶出量で基準値（0.01mg/L）以上が4箇所から検出されました。また、表層部分から4m部分で砒素の基準値を超えた浸出水が2箇所から検出されました。土壌を専門家に調査してもらったところ、表層部分から検出された砒素については、病院の医療行為等による人為的なものではなく、昭和40年以前の造成時に浜田市近郊から運ばれてきた盛土である。また、表層部分から4m部分で基準値を超えた浸出水は、昔この地域が海であったため、土壌中にわずかに含まれる砒素が浸出したと考えられるとのことでした。汚染した土壌については、全て搬出し、山口県の施設で無害化处理しました。



国立浜田病院全景(H7.9)



管理診療棟解体



西工区5月



東工区7月

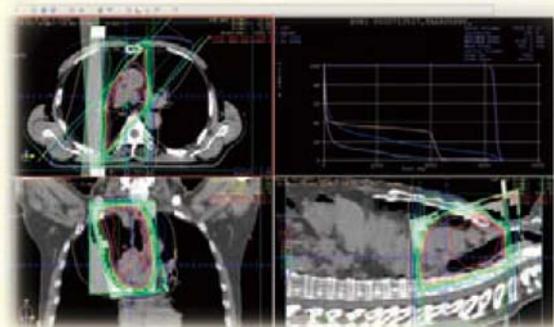
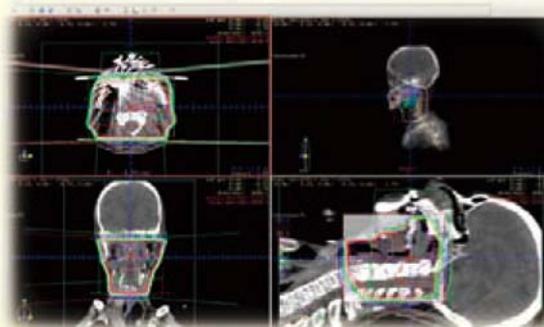


新しくなった 放射線治療の紹介

平成 22 年 2 月より、新しい放射線治療装置が稼動を始めました。旧病院で使用していたものと比べ、高出力化により短時間で、高精度化により副作用が少なく、コンピュータ制御により安全に、放射線治療が実施できるようになりました。

放射線治療専用の CT シミュレータを設けたことにより、治療計画用 CT の撮影の待ち時間が短くなりました。もちろん待ち時間ゼロ、というわけにもいきませんので、放射線治療の患者さん専用の待合を設けてあります。

撮影した画像はコンピュータ処理され、がん細胞に適切に放射線が照射されるよう、3次元的に解析をしながら治療方法を計画します。放射線の量に応じて色で塗り分け、臓器ごとの放射線量をグラフ化して評価します。また、PET-CT や MRI の画像と重ね合わせることで、病変部位を正確に把握することができ、より確実な治療計画が作成できるようになりました。



放射線治療とは？

レントゲン写真やCTで使うのと同じX線をがんの部分に照射し、細胞内のDNAに損傷を与え細胞分裂を阻害することで、がん細胞を死滅させる治療法です。

放射線が当たった部分は、がん細胞、正常細胞ともに損傷を受けます。しかし正常細胞は放射線による損傷から回復する能力があるため、がん細胞が死滅しても、周囲の正常細胞は生き残ることができます。この放射線に対する強さの違いを利用して、放射線治療は行われます。



病変の種類や場所によって、色々な角度から、場合によっては回転させながら、放射線を当てることがあります。コンピュータ制御で、0.1度以下の回転精度を誇ります。

安全な放射線治療のために

放射線は目に見えませんし、体にあたっても何も感じません。初回の治療後に、「もう終わったの?」とおっしゃる患者さんも少なくありません。放射線治療では特に放射線の量が厳しく定められており、ガイドラインではX線出力は±2%以内であるよう求められています。当センターでもそれに則って、毎朝放射線の出力を測定し、±2%以内であることを確認してから治療を行っています。

放射線の測定には、専用の測定器が必要です。精度は高いが、測定に非常に時間がかかるもの、精度は劣るが数分で測定ができるものなど、色々あります。さらに、測定機自体が本当に正しい値を示しているか、線量校正センターへ依頼し、定期的に証明をもらっています。

また測定機の取り扱いにも習熟する必要があります。国立病院機構内では、お互いの施設に測定をしに行く「訪問測定」も行っており、より多くの知識と経験を共有して、精度の高い測定に勤めています。



安全で確実な放射線治療の提供のために、日々精度管理を行っております。「放射線」という名前は怖いかもしれませんが、安心して治療を受けてください。



(放射線科 石脇 清史)

「わたしたちは医療クラークです」

平成20年4月より「医療クラーク（医師事務作業補助者）」が導入され、現在32名が勤務しています。

医療クラークとは、医師の事務的な仕事をサポートする職種です。主な業務内容はつぎの通りです。

1. 外来診療補助

電子カルテ代行入力

2. 病棟業務補助

回診、病状説明などの記録、退院サマリー作成 など

3. 書類作成

診療情報提供書（紹介状）、入院証明書などの作成

4. 統計業務

学会発表や診療に必要な統計作業

この他にも、診療科によって、様々な業務を行っています。

いずれの業務においても、医師の指示で業務を行い、最後に医師が確認を行う事を厳守としています。

また、当センターの医療クラークは院内研修だけでなく、院外の研修への参加や、専門の資格取得など、知識の習得を積極的に行っています。

医師の事務負担を軽減することで、医師は本来の診療業務に専念できるようになります。

今後も、医療クラークは医療スタッフの一員として、医療の質の向上に努めてまいります。



「外来診療室で、医師とともに仕事をしています。」



（医療クラーク 田中加奈子）

出産されたお母さん方へ



出産されたお母さんに対して、当センターでは「赤ちゃん筆の仕立て券」をお祝いとして贈らせていただいております。ご家族の方々にとっても喜ばれています。退院後、申込書と髪の毛をご一緒に受注業者（北斗園）に申込みされ、約2ヶ月後に赤ちゃん筆が出来上がります。

赤ちゃん筆とは、産まれて一度も散髪したことのない赤ちゃんの髪の毛で作られる筆です。筆は熊野筆で有名な広島県熊野町の職人の手により一つ一つ丁寧に作られます。妊娠中にお母さんのお腹の中で成長した髪の毛（産毛）は、頭脳明晰や長寿のお守りとして大事に保管する習慣があります。筆にすることで赤ちゃん誕生記念の宝物として残していただきたいと思っています。



赤ちゃんの健やかな成長を願って…病院からの贈り物です



お祝い膳(秋)

また、入院中の夕食にはお祝い膳をお出ししており、ご希望の日にご家族の方と一緒に食べられるように2食分をご用意しています。栄養管理室が季節毎にメニューを考えて下さり、「豪華な内容で期待以上においしかった」「久しぶりに家族と話をしながら食べて良かった」との声をよく聞きます。ご主人だけでなく上の子どもさんも一緒にお祝い膳を囲む方もおられ、夕食時のラウンジには久しぶりの家族での食事を楽しまれる姿でにぎわいます。

（4北病棟 助産師 池田ちさの）



シリーズ

認定看護師

皮膚・排泄ケア認定看護師 3階南病棟 副看護師長

今若 育穂



平成20年に皮膚・排泄ケア認定看護師となりました今若です。

皮膚・排泄ケア認定看護師はどのようなことを行う看護師かをご説明します。

1. 手術でできた傷の治りが遅いものや、床ずれの出来た原因を考え、どのようにすれば早く良くなるかを考え、実際に対応する。
2. ストーマ(人工肛門)を造った方やその家族から相談を受け対応する。またストーマ(人工肛門)のトラブルへの対応や日常のケア指導を行う。
3. おしっこや便の漏れにお困りの方に対して、改善できる方法があるかを考える。また、おしっこや便の漏れ、オムツの使用など様々な原因で出来たおしりのただれ(おしり以外にも、全身の皮膚のトラブル)に関して、どのようにしたら良くなるかを考えて対応する。

このように、色々な事に関して相談、実践、指導を日々行っています。

現在は、3階南病棟で副看護師長として働いていますが、毎週木曜日は認定看護師の仕事をしています。午前中はストーマ(人工肛門)外来を開催しています。原則、予約制となっていますが、緊急受診でも、空いた時間で対応可能です。午後からは、入院中の患者さんの床ずれの状況を確認し、良くなるにはどのように対応すれば良いかを栄養士やリハビリ担当者とも連携しながら考えています。その他、胃ろうや腸ろうのチューブの周囲の皮膚のただれなどにも良くなるように、対応しています。

日々、患者さんの状況を見ながら、患者さんが安楽に生活でき、一番有効であると考える処置・ケアを提供できるよう頑張っています。

手術でできた傷の治りが遅いものや、床ずれ(創傷)・ストーマ(人工肛門)についての色々なこと・おしっこや便の漏れ(失禁)や皮膚の異常などについての質問やご希望などありましたら、いつでもご相談下さい。



あいサポート団体に認定されました

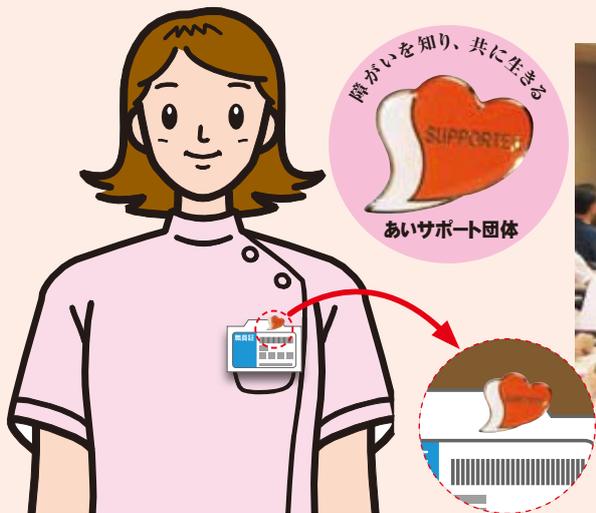
当センターは、平成22年8月4日付で、あいサポート団体に認定されました。

あいサポート団体とは、誰もが暮らしやすい地域（共生社会）の実現を目指し、あいサポーターの普及等に積極的に取り組む団体をいいます。

あいサポーターとは、多様な障がいの特性を理解し、障がいのある方が困っているときには、声をかけ、手助けを行う人をいいます。当職員は、これまでも疾病や障がいの特性を理解し、疾病や障がいのある方の手助けを行っていますが、今回の認定を契機に、職員全員が、あいサポート運動を実践しています。

あいサポート団体の認定に伴い、鳥取県障がい福祉課の協力により、9月7日に職員を対象にあいサポーター研修を実施しました。

(管理課長 松浦 義則)



健診センターからお知らせ

8月24日（火）当センターで、鳥取大学医学部附属病院副院長 小川敏英先生を講師に招いて市民公開講座を開催しました。市民や医療関係者61名の参加があり、「がんは怖くない ～備えあれば憂いなし、PET-CT検診のすべて」と題してお話しをされました。

PET-CT検査は、病変の位置とその範囲がより正確に判別することができ、精度の高いがんの画像診断方法である。PET-CT検診の位置づけとして、総合検診に加えることで、プラスアルファとしての価値を持つ検査法であるので、うまく利用してほしいという説明がありました。

PET-CT検査の費用は通常90,000円ですが、島根県民の方は割引として先着1,000名の方に限り85,000円としています。さらに浜田市民の方は、市独自の助成がでています。PET-CT検査による検診を希望される方は、健診センター（Tel0855-28-7700）までお申し込み下さい。



地域連携室からお知らせ

地域医療従事者(看護・介護)合同研修会について

いつも多数のご参加をいただき、ありがとうございます。第4回地域医療従事者研修会は、9月9日(木)に、「誤嚥性肺炎について ～症状観察のポイント～」というテーマで、当医療センターNSTとの合同研修会として開催しました。院外から79名の看護・介護職の方々に参加してくださいました。お忙しい中を本当にありがとうございました。アンケート結果より、「高齢者では症状が現れ難く、見つけ難いことがよくわかった」「経口摂取していなくても肺炎は起こることが理解できた」「施設内での勉強会に生かしたい」などの意見をいただきました。NSTとの合同研修会は次回2月に計画しています。万障お繰り合わせの上、是非またご参加くださいますようお願いいたします。

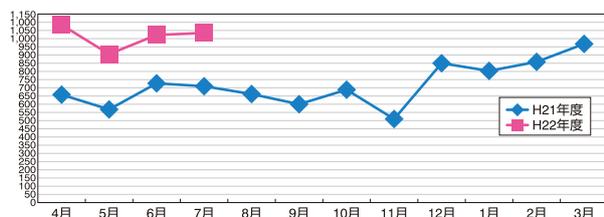
今後の予定のご案内

	テ ー マ	講 師
第5回 10月21日(木)	呼吸リハビリテーション	理学療法士 細井 利美
第6回 12月9日(木)	感染予防 ノロウイルス、インフルエンザ	感染管理認定看護師 渡邊 正美
第7回 2月10日(木)	NST大会 PEGの適応と合併症	消化器内科医師

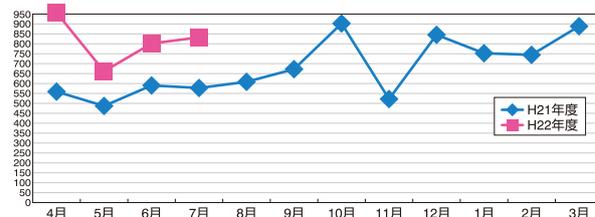
※開催時間は、いずれも18時30分～19時30分です。場所は総合研修センターで行います。



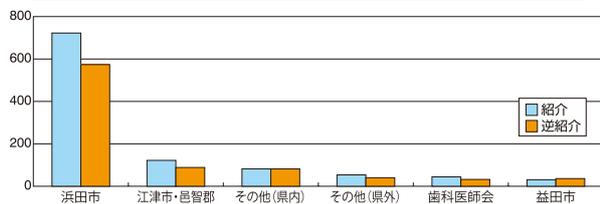
紹介件数の年度別比較



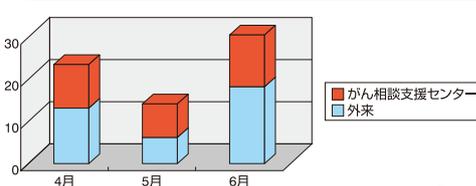
逆紹介件数の年度別比較



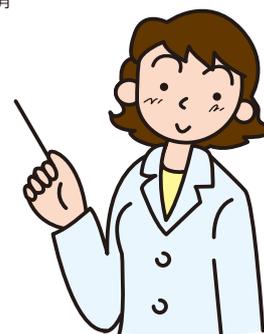
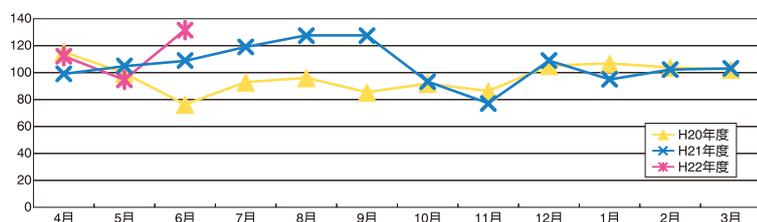
7月の診療圏別紹介・逆紹介件数



外来相談件数 (H22年4～6月)



退院支援患者数の年度別推移



看護学校だより

一日看護学生体験が無事に終了しました！！

8月31日（火）に当校にて一日看護学生体験を行いました。

総勢 29 名の参加者を迎え、模擬授業や看護技術を体験してもらい、盛況のうちに終了することができました。

来年度、当校の一員となって、一緒に学び成長していけることを心より願っています。

また、11月3日（水）の文化の日に学校祭を行います。その中でもオープンスクールを行いますので、ぜひとも参加していただければと思います。



1年生

学内での学習が進み、看護技術チェックの真っ最中です。1月には地域の方々に協力をお願いして、模擬患者さんになってもらい、清潔援助技術を行います。



学年情報

2年生

基礎看護学実習が終了し、1月からいよいよ本格的な各看護学の実習が開始となります。



3年生

11月には講義・実習もすべて終了し、2月の国家試験に向けて、全員合格を目指し、ひたすら国家試験勉強を行う毎日を送っています。



入学試験情報

一般入学 募集人員 40名
(推薦入学を含む)

願書受付期間
平成23年1月6日(木)
～平成23年1月14日(金) **必着**

受付時間 8:30～17:00
(土日祝日は除く)

入学試験日 平成23年1月20日(木)

入学試験科目 1) 国語総合(古文漢文を除く) 現代文
2) 英語 I・II
3) 数学 I
※試験は全科目、全問マークシート方式
4) 面接

合格発表 平成23年2月4日(金) 午前10時
本校玄関に掲示すると共に合否を本人宛に通知
インターネットでも番号表示
(<http://hamada-nh.jp/hamakan/success.html/>)

編集後記

整いました～！最近よく耳にする言葉ですが、私の中でも謎かけ漫才がマイブームとなっています。後から答えを聞くと、なるほどお～！と感心してしまいます。これは、なかなかの脳トレーニングになりそうです。そこで一句！「病院のセカンドオピニオンとかけまして、龍馬伝の坂本龍馬と解きます。その心は、共に選択(洗濯)することができます。」
皆さんも、リフレッシュがてら、頭の回転をよくするために整えてみませんか？

(編集委員 豊)